

矢野仁一 （あやの ひとし） 支那史學者、文學博士。明治五年五月十二日山形縣
生れ、昭和四十五年一月二日歿（八七—一九七〇）。明治二十二年東京帝
國大學文科大學史學科卒。二十八年清朝の招聘により北京の法政學堂
勤務。大正九年京都帝大教授。支那近代史、滿洲研究の第一人者。

著書「續史的研究」（他四名合著・史學研究會編、大正五年一月十一

日富山房）、「滿洲支那領土説の批判と滿洲國の建國」（昭和八年八

月二十日啓明會事務所「講演集」）、「曠原」（昭和八年十一月十日

自刊）、「清朝末史研究」（昭和十九年四月二十日大阪・大和書院）、

「大東亞史の構想」（昭和十九年十月十八日自照書店）等。

